

短大設立 70 周年

学長 城 島 栄一郎

昭和 25 年に実践女子学園短期大学が設立されて令和 2 年に 70 周年を迎えました。この間、渋谷の常磐松から日野の神明へ、そして渋谷の現キャンパスへ回帰し、設立時の家政科に国文科、英文科を加え、様々な改変を経て、現在の日本語コミュニケーション学科と英語コミュニケーション学科に至っています。1970 年代は卒業生数が 1200 人を超えることもあり 1980 年代初頭まで大学を上回っていました。現在は少子化の影響を正面から受けて入学定員 180 人へと規模を縮小しています。

少子高齢化に歯止めがかからない日本において短期大学の存続が危ぶまれています。変化の激しい現代社会において、将来の方向を早期に決めることに躊躇している若者が多数と思われます。2 年という短い期間ですが、この間に基礎的能力を磨いて広い視野を持ち、将来の方向をじっくり考えて次のステップ（編入、留学、就職）に進むことができる期間と捉えると、学生の将来への自由度は大学よりも大きいといえます。

本学が教育・研究内容をさらに充実させ、この後 80 周年、100 周年を祝えるように学生・教員・職員が一体となって頑張ることが重要といえます。